

下田市立学校統合準備委員会だより

令和3年1月15日発行 第6号

発行：下田市立学校統合準備委員会
編集：下田市教育委員会学校教育課
電話：0558-23-3929 FAX：0558-23-5176
E-Mail：s-kyoui@city.shimoda.shizuoka.jp

1 新中学校部活動について

(1) 下田市部活動方針及び決定事項について ※取消部分が変更となり、統合準備委員会で承認されました。

- ① 学校再編前の新たな部活動の合同チーム設置は行わない。
- ② 学校再編後に新たな部活動の拡充を行う。既存部活動が不足となった場合の合同チーム設置は行う。
- ③ 令和4年4月学校開校時には、全ての生徒が新たな部活動を選択できる。
※3年間、続けたいと思えるような指導を顧問の先生が行っていくことが重要。
※改めて選択し直せることで救われる生徒の多様性を確保。
※中体連賀茂地区大会は複数チーム出場可能(協会主催大会を含む〔← ~~チームのみ~~〕)だが、生徒の部活動入部希望を調査後(令和3年4月調査予定)にどのように対応するか検討。
- ④ 令和4年4月から部活動全員加入制を基本とする。但し、例外を認める。
※全員加入制を基本とするが、例外の可否判断等はその都度、学校長が判断。
例①クラブチームに所属する等の理由により、部活動に所属しない(クラブチーム・習い事等)。
例②クラブチームに所属する等の理由により、部活動の試合には出場しないが、クラブチームの練習がない日は、部活動に参加して体力づくりに参加することなども認める(部活動に所属する)。等
- ⑤ 令和4年4月から部活動の朝練習は実施しない。
※学区が広域となるため、部活動の朝練習は実施しない。
- ⑥ 開設する部活動決定時期を令和3年3月〔← ~~令和2年12月~~〕とする。
※新規部活動を設置するにあたり、令和3年7月頃〔← ~~1月頃~~〕には中体連への報告を行う必要があるため(支部大会から県大会への出場枠等の協議など)。

(2) 部活動選定スケジュール ※取消部分が変更となり、統合準備委員会で承認されました。

時期	内容	備考
R元.9.17~27	部活動検討に係るアンケート実施(第1回) 対象：全児童(保護者含む)・中学校教職員	部活動開設の検討、統合時3年生の扱いについての基礎資料とするため。
R2.1	統合時3年生の部活動の扱い及び開設する部活動の公表時期について情報公開	4中学校ごと新入生説明会等にて説明
R2.10.1~9	部活動加入希望調査(第2回) 対象：全児童(保護者含む)及び中1	部活動開設を検討・決定するための資料とし、運用方法をより具体的に検討するため。
R3.3 〔← R2.12 〕	開設する部活動決定	統合準備委員会として、決定。
R3.4	部活動入部希望調査(第3回) 対象：開校時の該当生徒(小6・中1・中2)	部活動及び運用方法等を最終確定するための資料とするため。
R3.7	部活動及び運用方法等最終確定	統合準備委員会として、最終確定。
R3.7	統合準備委員会の結果を教育委員会へ答申	統合準備委員会会長・副会長
R3.7	答申内容について教育委員会にて審議	承認を得て、正式に決定。
R4.4	新中学校開校 部活動開設・運用開始	

(3) 今後の新中学校部活動検討について

子ども及び保護者に対し常に情報公開をしながら検討していくとともに、アンケート等の結果で開設する部活動を決定するのではなく、新中学校施設、指導者確保、運営等を含めた上で、統合準備委員会で検討し、開設する部活動を選定します。

2 新中学校部活動加入希望調査結果について

(1) 調査目的 令和4年4月に開校する下田市立下田中学校に設置する部活動やその活動内容等について、検討するため部活動加入希望調査を実施。

(2) 調査実施日 令和2年10月1日(木)～10月9日(金)

(3) 調査方法 学校再編世代となる小学校全児童及び中学校1年生の生徒とその保護者(児童生徒1名につき回答用紙1枚)を対象とし、調査票は学校経由による配布・回収により実施。

(4) 回収状況

配布数	回収数	回収率
928	890	95%

(5) 調査項目の構成

番号	質問項目	回答方法
1	所属等について	「学校名及び学年」「児童生徒氏名」「保護者氏名」記述式。
2	Q1:新しい中学校では、どの部活動に入部したいですか。下の選択肢からお答えください。	第1希望、第2希望を選択式。「クラブチーム・習い事」を選択した場合は具体的なクラブチーム・習い事を記述式。
	Q2:Q1を選択した際のあなたの考え方を教えてください。選択する方に○印をつけてください。選択肢にない場合は、その他記入欄に考え方をお書きください。	部活動入部する際の考え方を想定した質問設定。レギュラーとして活躍したいのか、レギュラーになれなくても自分の好きな部活動を選択するのかについて選択式にて回答。その以外の意見については「その他」として記述式。
3	その他、新しい中学校の部活動についてご意見がありましたらご記入ください。	記述式。

(6) 調査結果(一部) ※詳細については、下田市公式ホームページにてご覧ください。

Q1:新しい中学校では、どの部活動に入部したいですか。【学年別人数(第1希望)】

N=890

区分	小1(N=123)	小2(N=109)	小3(N=134)	小4(N=118)	小5(N=130)	小6(N=144)	中1(N=132)
①男子バレーボール部	3(2.4%)	0(0%)	3(2.2%)	4(3.4%)	2(1.5%)	6(4.2%)	19(14.4%)
①女子バレーボール部	6(4.9%)	4(3.7%)	8(6.0%)	3(2.5%)	4(3.1%)	16(11.1%)	17(12.9%)
②男子バスケット部	14(11.4%)	4(3.7%)	12(9.0%)	6(5.1%)	8(6.2%)	15(10.4%)	7(5.3%)
②女子バスケット部	5(4.1%)	5(4.6%)	3(2.2%)	3(2.5%)	4(3.1%)	7(4.9%)	12(9.1%)
③男子ソフトテニス部	4(3.3%)	2(1.8%)	6(4.5%)	5(4.2%)	3(2.3%)	14(9.7%)	14(10.6%)
③女子ソフトテニス部	10(8.1%)	6(5.5%)	18(13.4%)	16(13.6%)	13(10.0%)	17(11.8%)	12(9.1%)
④男子卓球部	1(0.8%)	3(2.8%)	7(5.2%)	6(5.1%)	11(8.5%)	3(2.1%)	18(13.6%)
④女子卓球部	3(2.4%)	1(0.9%)	1(0.7%)	0(0%)	7(5.4%)	6(4.2%)	0(0%)
⑤吹奏楽部	5(4.1%)	3(2.8%)	7(5.2%)	5(4.2%)	11(8.5%)	5(3.5%)	8(6.1%)
⑥美術部	21(17.1%)	14(12.8%)	16(11.9%)	12(10.2%)	11(8.5%)	8(5.6%)	8(6.1%)
⑦サッカー部	14(11.4%)	20(18.3%)	10(7.5%)	10(8.5%)	9(6.9%)	8(5.6%)	2(1.5%)
⑧野球部(軟式)	4(3.3%)	7(6.4%)	5(3.7%)	8(6.8%)	10(7.7%)	5(3.5%)	0(0%)
⑨陸上部	6(4.9%)	10(9.2%)	7(5.2%)	12(10.2%)	9(6.9%)	5(3.5%)	4(3.0%)
⑩水泳部	17(13.8%)	13(11.9%)	15(11.2%)	11(9.3%)	5(3.8%)	6(4.2%)	2(1.5%)
⑪剣道部	1(0.8%)	5(4.6%)	0(0%)	3(2.5%)	5(3.8%)	1(0.7%)	0(0%)
⑫サーフィン部	4(3.3%)	7(6.4%)	10(7.5%)	7(5.9%)	9(6.9%)	9(6.3%)	5(3.8%)
⑬総合文化部	0(0%)	2(1.8%)	3(2.2%)	2(1.7%)	6(4.6%)	7(4.9%)	1(0.8%)
⑭クラブチーム・習い事	3(2.4%)	1(0.9%)	2(1.5%)	5(4.2%)	3(2.3%)	5(3.5%)	2(1.5%)
⑮未回答等	2(1.6%)	2(1.8%)	1(0.7%)	0(0%)	0(0%)	1(0.7%)	1(0.8%)

Q2:Q1を選択した際のあなたの考え方について教えてください。【学年別人数】

N=890

区分	小1(N=123)	小2(N=109)	小3(N=134)	小4(N=118)	小5(N=130)	小6(N=144)	中1(N=132)
①レギュラーとして活躍	19(15.4%)	25(22.9%)	28(20.9%)	32(27.1%)	25(19.2%)	32(22.2%)	36(27.3%)
②好きな部活動を選択	92(74.8%)	76(69.7%)	93(69.4%)	76(64.4%)	93(71.5%)	99(68.8%)	85(64.4%)
③その他	6(4.9%)	3(2.8%)	5(3.7%)	6(5.1%)	4(3.1%)	7(4.9%)	1(0.8%)
④未回答	6(4.9%)	5(4.6%)	8(6.0%)	4(3.4%)	8(6.2%)	6(4.2%)	10(7.6%)

部活動加入希望調査結果の詳細は、
下田市ホームページに掲載しております。

URL <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>

「部活動加入希望調査」にて検索



3 新中学校校歌について

(1) 音楽家への校歌作成依頼について

新中学校の校歌作成を検討するため、小中学校音楽主任で構成するプロジェクトチームを設置し、様々な検討を行いました。その結果、前下田市立小学校校長からの紹介により、茅ヶ崎市出身の音楽家で下田市にも度々訪れているミマス氏に校歌作成を依頼することとなり、統合準備委員会においても正式に承認されました。

【ミマス氏について】

- ・茅ヶ崎市出身の音楽家で下田市にも度々訪れており、自然を愛し、宇宙や自然、世界をテーマに作曲活動をしている。公立学校の校歌、愛唱歌を作成した実績。
- ・ミマス氏が作詞作曲した「COSMOS」は、「合唱界における21世紀最初のヒット曲」と言われており、下田市を含め、全国の小中学校で合唱されているとともに2018年の小学校3年生の道徳の教科書にも歌詞が掲載されている。
- ・音楽ユニット「アクアマリン」としての活動の他、小中学校での授業や講演活動も行っている。
- ・主な楽曲 「COSMOS」「地球星歌」「一つの明かりで」「いつかこの海をこえて」など

(2) 校歌作成スケジュールについて

時期	内容	備考
R2.9.2	第12回学校統合準備委員会	校歌作成について正式に承認。
R2.11~ R3.8	ミマス氏下田訪問(四季に合わせ、4回程度予定) 下田訪問に合わせ、小中学校にて児童生徒と交流	約1年間をかけ、下田について知ってもらうとともに、校歌アンケートなどについても実施。
R3.9	新中学校校歌完成及び受領式	
R3.11	統合準備委員会にて決定後、教育委員会へ答申	統合準備委員会会長・副会長
R3.11	答申内容について教育委員会にて審議	承認を得て、正式に決定。
R3.11	各学校に新中学校校歌楽譜配布	
R3.11~ R4.3	各学校にて新中学校校歌練習	5か月間をかけ新校歌の練習を行う。
R4.4	新中学校開校式にて新中学校校歌披露	新中学校開校式へミマス氏を招待予定。

(3) アンケートの実施について

校歌を作成していただくにあたり、子どもたちから下田の良いところや誇れるところ、大切にしていきたい人達や風景に対する思いをミマス氏へ届けるため、アンケートを実施しました。

- ① **アンケート対象学年** 小学校5年生、6年生及び中学校1年生から3年生まで(約700人)
- ② **アンケート実施期間** 令和2年11月24日(火)~12月11日(金)

※記入していただいたアンケートは既にミマス氏へ届けており、全て見ていただいているところです。

(4) 小中学校交流会について

ミマス氏と子どもたちとの交流会を新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら現在進めています。今年度中に稲梓、稲生沢、下田東中学校区を終了し、来年度、下田中学校区での実施を予定しています。

交流日	学校名	交流日	学校名
R2.12.18	浜崎小学校	R3.1.25 予定	下田東中学校
	白浜小学校		稲生沢小学校
R2.12.19	稲生沢中学校	R3.1.26 予定	稲梓小学校
			稲梓中学校

◎来年度実施校(R3.5~6 予定): [下田中学校区] 下田小学校、大賀茂小学校、朝日小学校、下田中学校

※小中学校交流会は新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、延期する場合があります。

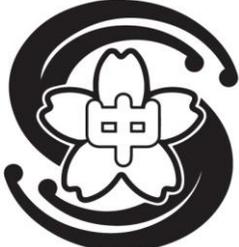
4 新中学校校章について

新中学校校章については、以下のスケジュールに従い、令和3年2月に校章の市民投票を行います。令和3年3月に市民投票結果を参考に統合準備委員会で最終選定、教育委員会へ答申、委員会の承認を得て正式に決定されます。

(1) 校章選定スケジュール

時期	内容	備考
R元.12.20	校章募集要項決定	統合準備委員会にて承認。
R2.4～5	校章募集（一般 51 作品・児童生徒 501 作品 計 552 作品）	
R2.7.2	第1次審査（一般 28 作品・児童生徒 70 作品 計 98 作品）	美術・図工科教職員6名による審査。
R2.7.10	第1次審査 98 作品について、 静岡大学教育学部伊藤文彦教授の意見聴取	
R2.7.31	第2次審査（一般 8 作品・児童生徒 14 作品 計 22 作品）	静岡大学伊藤研究室による審査及び美術・図工科職員6名による審査。
R2.9.2	第3次審査（第2次審査 22 作品から最終候補作品選定） ※最終候補作品には、賞状・図書カード等を贈呈。	統合準備委員会で最終選定。
R2.9～12	第3次審査最終候補作品について、 静岡大学教育学部伊藤文彦教授に改良依頼	1 作品について、数パターン作成。
R2.12.21	校章最終候補作品(改良版)数パターン提示・第4次審査 市民投票要項の決定	統合準備委員会にて選定・承認。
R3.2.1～26	校章最終候補作品について、市民投票実施（第5次審査）	投票用紙等は広報しもだ2月号に掲載、各戸配付。市ホームページにも掲載。
R3.3	市民投票結果を参考に校章1作品を最終選定	統合準備委員会として最終選定。
R3.3	統合準備委員会の結果を教育委員会へ答申	統合準備委員会会長・副会長
R3.3	答申内容について教育委員会にて審議	承認を得て、正式に決定。

(2) 新中学校校章最終候補4作品

①下田の紫陽花と下田の空と海をモチーフにしたデザイン	②既存4中学校校章の要素を組み合わせたデザイン	③ShimodaのSと市の木大島桜をモチーフにしたデザイン	④筆記用具、帆、いかりをモチーフにしたデザイン
			
<p>中心の四角は紫陽花の花であり新中学校の核を意味している。中心からひろく4枚の形は紫陽花のがくを表し、新中学校に集まる既存4中学校を表現している。がくの中は、下田の青い空と豊かな海を表し、右から力強い波、下田湾、穏やかな波と3つの異なる海の表情や特徴を表現している。紫陽花、力強い波がデザインされており、中心に描かれた中の字は、未来に向かって力強く進む黒船を彷彿とさせるデザインとなっている。</p>	<p>中心に描かれた3枚の葉は、稲稈中学校の校章に描かれている稈の葉を、上部に描かれた稲は、稲生沢中学校の校章に描かれている稲穂の形を用いている。波打つ6つの形は、下田東中学校の6地区を表す形を、二重の円は下田中学校の校章の舵輪を用いており、始まりも終わりもなく途切れないことを意味している。既存4中学校の校章の要素が盛り込まれたデザインとなっている。</p>	<p>4つの波頭は、統合する4中学校、開港の歴史、港、山、いで湯の豊かな自然を表している。また、統合する4中学校の歴史や伝統・勉学・スポーツ・文化も含めている。友愛、夢や希望、飛翔、発展といった明るく活気あふれる中学校の輝かしい姿と未来像が期待されている。4つの波頭、下田のS、桜の3つの要素を組み合わせたデザインとなっている。</p>	<p>六角形の輪郭は鉛筆を、上部には万年筆を描き、学習のイメージを表している。中央には、黒船の帆、いかり、波しぶきを配置し、元気な港っ子を表している。帆の形、中の字は上に広がり発展していくイメージを表し、7つの水しぶきは既存7小学校の子どもたちを表している。全体的に角ばった形からは、未来に向かって進む船をイメージさせるデザインとなっている。</p>

統合準備委員会に関する情報は、下田市公式ホームページに掲載しております。

URL <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/> 「学校再編」にて検索